

酪農家になりたい方を
研修生として募集しています！

酪農をやりたい！
を応援します

全酪アカデミーの就農サポート



一般社団法人 Zenraku Academy

全酪アカデミー

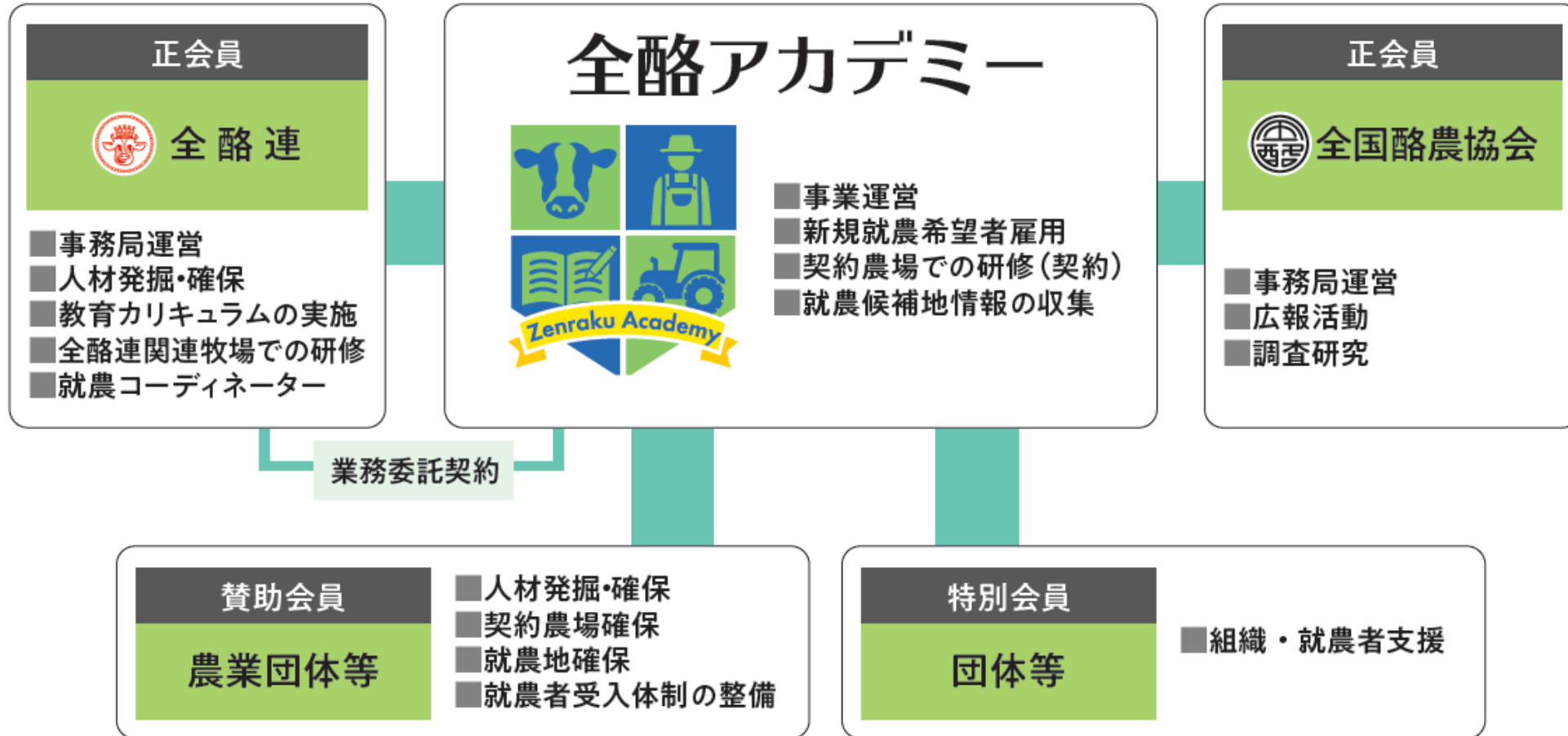
内容

1. 組織概要
2. 事業目的
3. 研修プログラム
4. 事業運営について
5. 募集にあたって

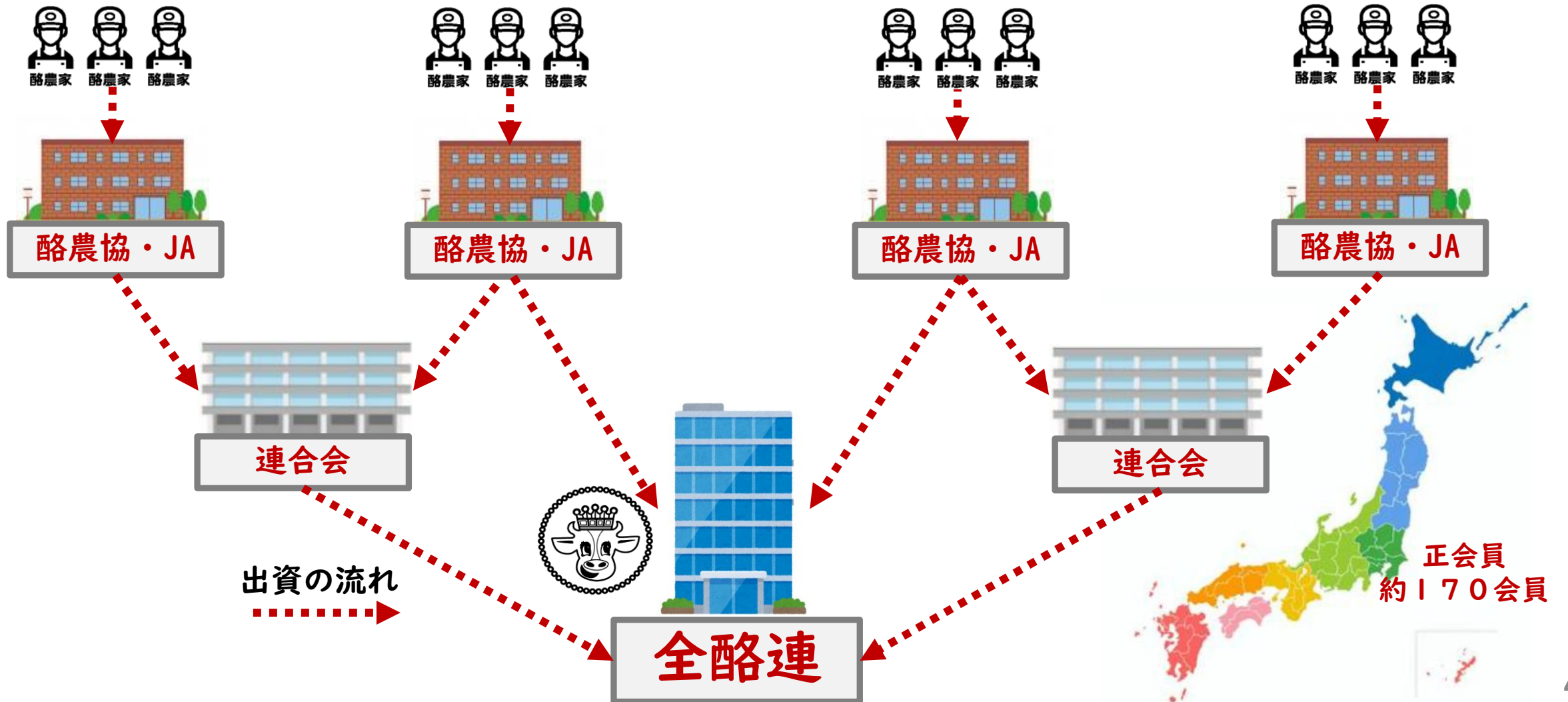
1. 組織概要について

～（一社）アカデミーってどういう組織なの？～

各組織の連携図と役割



全酪連!? どんな組織?



全酪連！どんな組織？

■事業の目的

全酪連は、会員が協同して酪農業の振興を図り、会員の構成員である酪農生産者の経済的、社会的地位を高め、ひいては国民経済の発展に寄与することを目的としています。

■組織概要

名称	全国酪農業協同組合連合会
代表者氏名	代表理事会長 隈部 洋
所在地	東京都渋谷区代々木一丁目37番2号
設立年月日	昭和25年9月15日
出資金	62億6,137万円（令和6年3月31日現在）
会員数	正会員168 準会員18 （令和6年3月31日現在）
取扱高	1,331億円（令和5年度実績）

01

指導事業

日本の酪農の安定と発展、酪農家の地位の向上に努力しています。

- ✓ 会員組織の整備強化
- ✓ 酪農後継者対策支援
- ✓ 酪農ヘルパー制度への支援
- ✓ 調査・広報活動
- ✓ 酪農関連諸制度の整備・拡充

02

購買事業

土づくり、草づくり、牛づくりを原点に、ソフト面・ハード面で酪農家をサポート。

- ✓ 生乳生産に必要な資材の供給
- ✓ 技術指導や技術情報の提供
- ✓ 新しい生産資材の研究・開発
- ✓ 酪農経営支援

03

畜産事業

優れた乳用牛の繁殖や、肉用牛や牛肉の取扱いを行っています。

- ✓ 乳牛の購入繁殖
- ✓ 育成牛の預託
- ✓ 食肉の販売
- ✓ 肉用牛の販売繁殖

04

酪農事業

生乳の合理的な供給、乳製品の製造・販売など酪農家の経営安定に貢献。

- ✓ 生乳の需給調整
- ✓ 乳製品の製造・販売

一般社団法人 全国酪農協会

1. 設立の経緯と目的

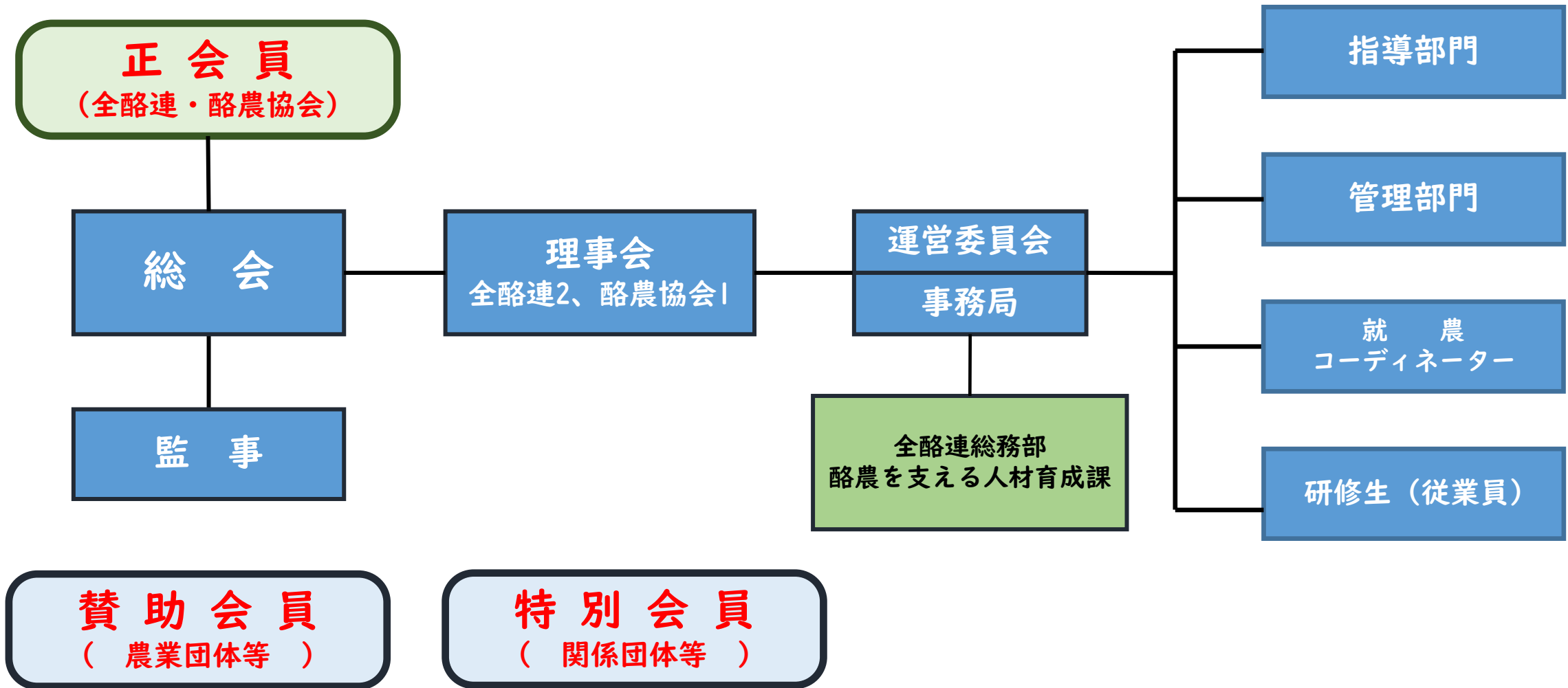
社団法人全国酪農協会（全酪協）は、戦後間もない昭和21年10月に設立の旗を掲げ、23年1月31日民法第34条による公益法人として農林省（当時）の認可を受け発足いたしました。以来、中央における酪農生産者とその組織（酪農専門農協）の中核として、我が国酪農生産者の社会的、経済的地位向上のための指導事業を展開しており、定款にもその目的を以下のとおり定めております。

『本会は酪農の急速なる普及並びに酪農経営の健全合理化を図ると共に、会員相互の連絡協調、関係諸機関との連絡を緊密にし、以て酪農業の飛躍的発達を期する。』

一般社団法人 **全国酪農協会**
全酪新報・酪農共済制度

所在地	〒151-0053
	東京都渋谷区代々木1-37-2
	酪農会館5階
電話番号	代表（総務部）：03-3370-5341
	（業務部・共済制度）
	03-3370-5488
	（指導部・全酪新報編集部）
	03-3370-7213

一般社団法人全酪アカデミー 機構図

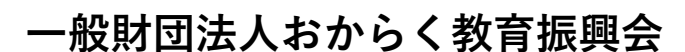


会員の加入状況 (令和8年5月現在)

賛助会員 44 会員

札幌支所	標津町農業協同組合	名古屋支所	愛知県酪農農業協同組合	
	中春別農業協同組合		三重県酪農農業協同組合	
	士幌町農業協同組合		大阪畜産農業協同組合	
仙台支所	岩手中央酪農農業協同組合	大阪支所	ハイクオリティミルク農業協同組合	
	みやぎの酪農農業協同組合		兵庫県酪農農業協同組合	
	山形県酪農農業協同組合		大山乳業農業協同組合	
	福島県酪農農業協同組合		おかやま酪農農業協同組合	
東京支所	茨城北酪農農業協同組合		広島県酪農農業協同組合	山口県酪農農業協同組合
	茨城県酪農農業協同組合連合会		防府酪農農業協同組合	徳島県酪農農業協同組合
	栃木県酪農農業協同組合		香川県西讃酪農農業協同組合	愛媛県酪農農業協同組合連合会
	酪農とちぎ農業協同組合		ふくおか県酪農農業協同組合	佐賀県農業協同組合
	ぐんま酪農農業協同組合		長崎県酪農農業協同組合連合会	熊本県酪農農業協同組合連合会
	東毛酪農農業協同組合		大分県酪農農業協同組合	宮崎県農業協同組合
	榛名酪農農業協同組合連合会	宮崎県南部酪農農業協同組合	鹿児島県酪農農業協同組合	
	新潟県酪農農業協同組合連合会	沖縄県酪農農業協同組合		
	山梨県酪農農業協同組合			
名古屋支所	石川県酪農農業協同組合			
	岐阜県酪農農業協同組合連合会			
	美濃酪農農業協同組合連合会			
	静岡県開拓農業協同組合連合会			
	富士開拓農業協同組合			
	浜名酪農農業協同組合			

特別会員 8 会員



2. 事業目的

～全酪アカデミーの事業目的は？～

酪農を支える人材育成事業（全酪アカデミー）

<背景>

酪農生産現場では、後継者不足による酪農従事者の減少が続いています。今後の安定した生乳生産が懸念される中、新規就農者、牧場従事者など酪農を支える人材の育成が急務となっています。

<目的>

酪農就農や牧場従事等を志す担い手を育成し就農に結び付けることを目的とします。

★全酪アカデミーは、全酪連関連牧場や賛助会員傘下の契約農場等を活用し、飼養管理技術、酪農経営などの就農支援プログラムを行ないます。

3. 研修プログラム・就農地確保について ～どこでどのような研修ができるの？～

研修プログラム

研修プログラム			就農
時期	1年目	2年目～3年目	4年目～
研修拠点	全酪関連連牧場 (熊本県/福島県)	契約農場 (第三者継承を前提とした就農先候補地 または 実践研修契約牧場)	事業承継
所属	一般社団法人 全酪アカデミー 従業員		
研修内容 及び 就農活動	若齢・育成・搾乳等の基礎研修 座学研修	酪農場での実践研修 座学研修	

全酪関連連牧場
(熊本県)



全酪関連連牧場
(福島県)



契約農場



研修場所について

1年目 . . . 全酪連関連牧場

【研修場所】 福島県 矢吹
 熊本県 菊池 }


【選定】

採用時点において、研修生が就農を希望する地域に近い牧場を選定
※初任地までの交通費、引越費用は自己負担となります。

2年目以降 . . . 契約農場

【研修場所】 賛助会員の地域

【選定】

1年目終了時点において、研修生が就農を希望する賛助会員の地域の契約農場を選定する。
※就農希望地と契約農場の地域が一致しないこともあり得る。
※2年目の契約農場までの交通費、引越費用は一般社団法人全酪アカデミー負担となります。

教育カリキュラムの実施状況（参考）

全酪アカデミー座学 年間スケジュール

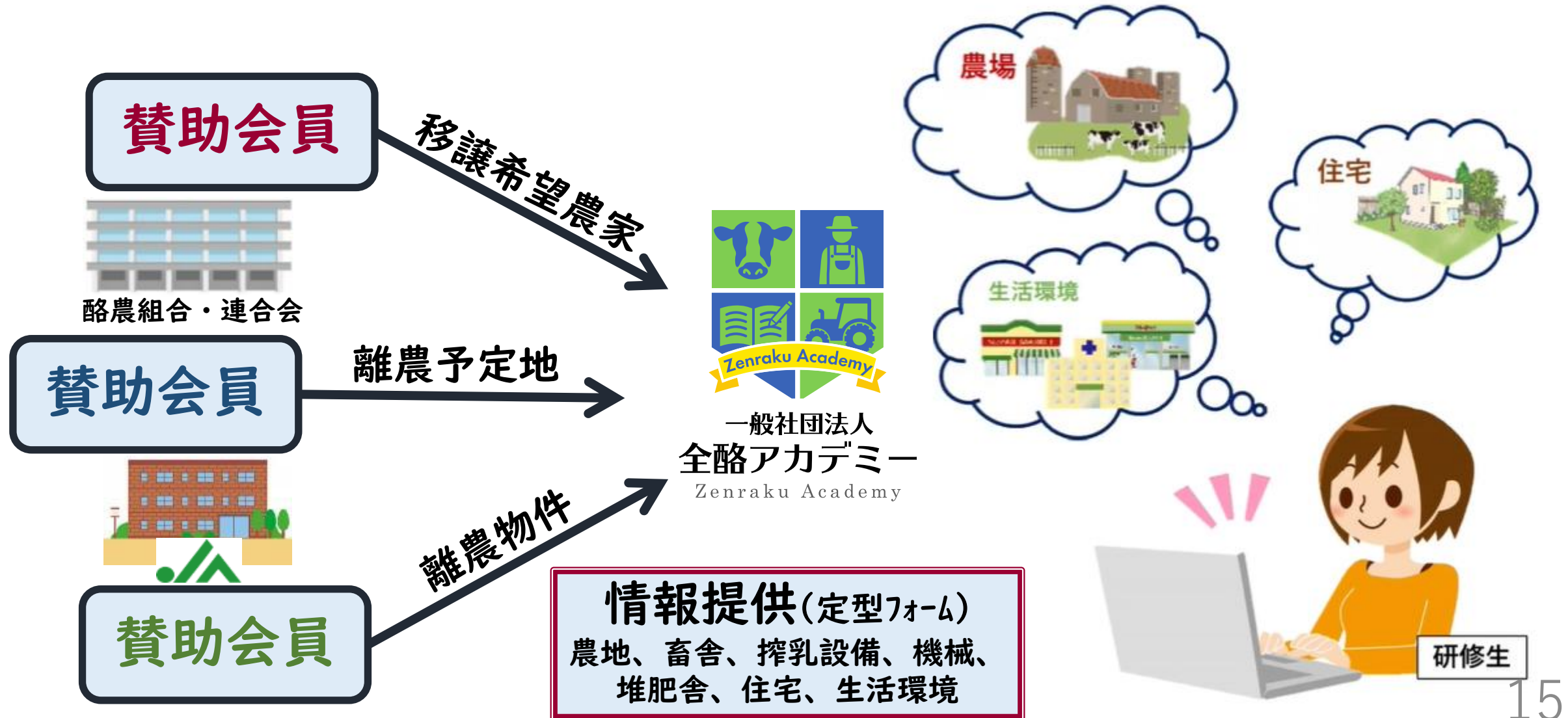
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生			乳牛の特徴・行動 置本	暑熱対策 置本	乳成分管理 乳質管理 置本	生乳取引 岩本	畜産関連法 東	畜産関連法 東	畜産経営 丹戸・置本	牛群の観察 置本	畜産関連法 東	繁殖管理
		畜産経営 丹戸・置本	栄養管理 置本		協同組合 大森	健康管理 置本	育成管理 置本	移行期の管理 置本	畜産経営 丹戸・置本		自給飼料	
2年生	就農地視察 坂本	就農地視察 丹戸・坂本	事業計画 丹戸・坂本	事業計画 丹戸・坂本	就農地協議 丹戸・坂本	就農地協議 坂本			畜産経営 丹戸・置本		畜産経営 丹戸・置本	



前田 達弥さん
前田 ヴィオリスカさん



就農地確保



就農地情報

令和8年5月

賛助会員	市町村	事業体	搾乳頭数 (頭)
岩手県	二戸郡	法人	150
福島県酪協	石川郡	個人	20
	塙町	個人	36
茨城県酪連	笠間市	個人	9
酪農とちぎ	那須塩原市	個人	60
榛名酪連	高崎市	個人	30
新潟県酪連	胎内市	個人	25
	中魚沼郡	個人	28
	魚沼市	法人	50
	中魚沼郡	個人	21
	燕市	個人	12
	中魚沼郡	個人	32
富山県	富山市	法人	60
	富山市	法人	62
富士開拓農協	富士宮市	個人	160
愛媛県酪連	北宇和郡	個人	13
	北宇和郡	個人	39

賛助会員	市町村	事業体	搾乳頭数 (頭)
大山乳業	鳥取市	個人	60
おかやま酪農協	真庭市	個人	43
広島県酪協	安芸高田市	法人	150
ふくおか県酪協	宗像市	個人	30
熊本県酪連	阿蘇市	法人	150
	上益城郡	個人	74
	合志市	法人	130
宮崎南部酪農協	都城市	個人	40
鹿児島県酪協	志布志市	個人	45
	志布志市	個人	40
	霧島市	個人	55
	霧島市	個人	27
	輝北町	個人	60
	志布志市	個人	60
沖縄県酪協	南風原町	法人	90

※黄色塗潰枠は就農地もしくは就農予定地として協議中。

4. 事業運営費について

～全国会員による負担金等を研修生への給与や研修費に充当～

事業運営費について

<運営費>

- 事業運営に必要な経費については、以下、負担金、年会費、就農時負担金、給与負担金等をもって充てられます。
- 事業運営費不足分について、当面は正会員負担金で補います。

	科目
正会員	負担金
賛助・特別会員	年会費、就農時負担金
契約農場	給与負担金

(不課税取引となり、消費税はかかりません。)

5. 募集にあたって

～重要事項～

研修生の募集要項

採用企業	一般社団法人 全酪アカデミー
業務内容	(雇入直後) 新規就農に結び付く飼養管理技術向上のための牧場作業全般
	及び付帯する作業
	(変更の範囲) 雇入直後の従事すべき業務と同じ
応募資格	① 酪農家等を目指していることが明確であり、起業家としての資質を有する者 ② 農協組織を理解し、地域社会と積極的に協調できると思われる者 ③ 普通自動車第一種運転免許を取得している者
募集人員	年間 2名～4名の採用(2組)
給与	月給250,000円～(入職時、20代の場合。入職時の年齢により変動有) (例;基本給207,600円～、固定時間外勤務手当42,400円) ※所定労働時間173時間を基準として、時間外・休日勤務35時間分相当額を定額で支給。超過分は別途支給。
雇用期間	期間の定めあり: 令和8年4月1日～令和11年3月31日
	内3カ月は試用期間 契約の更新 無 更新の上限 無
勤務地	(雇入直後) 全酪連 酪農技術研究所(福島県) 及び 全酪連 若齢預託熊本牧場(熊本県)
	(変更の範囲) 当法人の契約農場 及び 賛助会員組合牧場
勤務時間	1日 実働8時間以内(契約農場により始業、終業時間は異なる) ※農繁期は天候等により変動有

研修生の募集要項

休 日	4週4休、年間休日数52日
待 遇	規程により有給休暇制度、通勤手当、住宅補助制度有り。社会保険完備。 研修カリキュラムに基づき、座学・実地研修受講。
休 日	4週4休、年間休日数52日
待 遇	規程により有給休暇制度、通勤手当、家族手当、住宅補助制度有り。社会保険完備。 研修カリキュラムに基づき、座学・実地研修受講。
提出書類	履歴書、小論文 ※上記書類を郵送する前に、全酪アカデミー事務局までご連絡ください。 Webにて個別面談を実施し、全酪アカデミー事業のご説明をいたします。 ※作文のテーマ「私が目指す酪農経営 800文字以内」
選考方法	書類選考、適性試験、面接試験
採用通知	採用通知書の送付
応募先 (お問合せ先)	一般社団法人全酪アカデミー事務局（炬口、板倉、和田） 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1丁目37番2号（全酪連総務部内） 電話（03）5931-8070 FAX（03）5931-8020
備考	なお、実際の採用については、募集期間、人員に拘らず適格者の採用を優先します。 提出後の書類は、採用審査の用途に限り使用します。漏洩することのないよう厳重に管理され、選考業務を担当する役職員のみに参照を許可します。

募集にあたって（重要事項）

- ✓ 3年間の全酪アカデミー在籍期間で、酪農家を目指す方を募集します。
- ✓ 契約農場や就農地は賛助会員の地域からを選定します。
- ✓ 全酪アカデミーは、酪農団体組織、農協、関係団体等からのご協力と負担金を拠出していただくことで事業運営が成り立っております。
- ✓ 就農後においても、酪農団体組織・農協の事業にご協力いただける方を募集します。

募集にあたって（重要事項）

- ✓ 契約農場での従事は、一般社団法人全酪アカデミーから契約農場へ 在籍型出向となります。
- ✓ 出向先である契約農場での従事は、労働基準法の農業適用除外となります。（労働時間、休憩、休日に関する規定等）
- ✓ 全酪アカデミーと従業員（研修生）は雇用関係にありますが研修プログラムの中には、従事の他に教育カリキュラム受講や就農準備の活動など労働とは違う教育の側面も含みます。
- ✓ 携帯電話（機種・通話料）、PC（端末、通信料）、PC周辺機器、通信設備、事務用品、作業着は自己負担でお願いしております。

【就農までの道のり】 (高橋夫妻の例)

内容	2022年 (令和4年度)												2023年 (令和5年度)																	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月									
		就農候補地選定			継承方法協議			青年等就農計画 作成			青年等就農資金 申請			承認			作成			申請			決定			実行				
	賛助会員 挨拶訪問			就農候補地 視察			就農候補地 農場実習			経営継承協議			基本合意書 町役場挨拶			調査			初期投資促進事業 (補助事業) 申請			住宅探し			交付決定			最終評価 (乳牛価格決定) 引越		
										コーディネーターによる資産評			経営継承 見積取得						日本政策金融公庫との協議			資産評価 (乳牛基準価額) 資産譲渡契約書			就農					



【就農までの道のり】（前田夫妻の例）

令和3年	12月	新・農業人フェア（大阪会場）にて、全酪アカデミーのブースへ。
令和4年	1月	WEBにて事業説明。面接。
	3月	浜名酪農協（静岡県）管内酪農家にて、酪農体験（1カ月）。
令和5年	4月	全酪アカデミー入職。福島県矢吹町（全酪連酪農技術研究所）にて研修開始。 公益社団法人中国四国酪農大学校にて、研修（15日間）。
	5月	就農候補地の視察。福島県酪協訪問。
	6月	就農候補地の視察。富士開拓農協訪問。
	7月	全国酪青女・全酪連共催の『酪友フォーラム』（札幌市）参加。 就農候補地の視察。福岡県酪農協訪問。
	8月	就農候補地の視察。愛媛県酪連訪問。
	9月	就農候補地の視察。熊本県酪連訪問。 就農候補地（川崎牧場）、初めての視察。かごしま県酪協訪問。
	10月	就農候補地の視察。富士開拓農協訪問。 『石川實のデーリィライフ』（TBSラジオ）出演。
	12月	経営移譲を前提として、川崎牧場再訪。鹿児島県酪協同行。
令和6年	4月	霧島市へ転居。川崎牧場にて、経営継承を前提とした研修を開始。かごしま県酪、鹿児島県、霧島市などと就農に向けた協議を開始。
	6月	第一子（翠）誕生。
	7月	前田夫妻と川崎牧場にて基本合意書を締結。
	11月	日本政策金融公庫鹿児島支店へ、経営計画書の提出。
令和7年	9月	家族経営協定の締結（調印式）。認定農業者の審査承認。
	12月	前田夫妻、川崎牧場の2者間による資産譲渡等各種契約書の締結。
令和8年	1月	就農。生乳を初出荷（元旦）。

全酪アカデミーの特徴

- ①全国の賛助会員から寄せられる**就農地情報**を見ることが出来る
- ②研修期間中（原則3年間）は、**給料を受給**できる
- ③就農地視察や移譲者との協議は、全酪アカデミーの業務と位置付けているため、**旅費、宿泊費は全酪アカデミーが負担**
- ④研修中の住居は全酪アカデミーの借り上げ住宅となり、**敷金・礼金**などの初期費用は全酪アカデミー負担。
- ⑤社会保険の完備、家賃補助、交通費支給がある。
- ⑥子育て等の事情等で夫婦両名が全酪アカデミーの研修生になれない場合は**家族手当**が支給される。
- ⑦就農協議が破談となった場合、次の就農候補地を探すことが可能



一般社団法人 Zenraku Academy

全酪アカデミー

<お問合せ先>

どうぞお気軽にお問合せください。

一般社団法人全酪アカデミー

担当：炬口、板倉、和田

TEL03-5931-8070

zenraku_academy@zenrakuren.or.jp